

第28回関東甲信越糖尿病一群馬一セミナー開催計画

日時 11月8日(日) 会場 前橋市民文化会館

セミナー世話人

群馬大学
伴 野 祥 一群馬県支部長
中 山 正

「上州から広げよう! ブルーサークル」

群青(ぐんじょう)、人情そして友情

関東甲信越10県の持ち回りで開催されてきました「関東甲信越糖尿病セミナー」も3巡目の終わる第30回をもって終了することが昨年決定されました。このため、群馬県での開催もこれが最後となります。関係者一同、悔いのない有意義なセミナーを行おうと張り切っております。より多くの方々に糖尿病に関心を持って頂く場として、そして、関係者には貴重な学びの場、連帯の場として、盛大に開催されることを願って企画を進めています。

「糖尿病があっても笑顔で充実した人生を送りたい」。その願いをかなえるには、患者さん自身はもちろん、それを取り巻く家族・友人、医師や医療スタッフ、そして、同じ糖尿病の仲間など多くの人々の支え(人情・友情)が必要です。それらの人々の輪をブルーサークルに表して、上州群馬の地から青空(群青)を通じて世界中に発信してゆこうと今回のテーマが決まりました。この日この場にいられたみなさんに、眼で見て、耳で聴いて、肌で感じていただける企画を考えています。

糖尿病の知識については、食事や薬についてのちょっとしたコツ、今後の治療薬の展開など、教科書にはのっていない情報が満載です。糖尿病の治療指導に当たる医師、治療スタッフや一般開業医の方にも興味深い内容であり、かつ、患者さんにも十分ご理解いただけたらと思います。

大ホールでは昼食と休憩の時間を2時間とたっぷりとり、この間にロビーなどで参加型の「だるまスタンプラリー」を行います。看護師や栄養士など医療スタッフのコーナーをめぐってフットケアなどの体験やクイズを行い、ポイントを集めると、今回のセミナー限定の「ブルーサークル『だるま』」がもらえるというものです。楽しみながら、糖尿病の知識が得られ、心も体もホッとして、さらに「だるま」のおみやげ付きです。

ぜひ、晩秋の1日、上州の地に集まって、大きなブルーサークルの輪に加わりましょう。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

21年度の小児糖尿病福祉功労賞
東京(つぼみの会) 石場俊太郎
長野(ぶらんこの会) 柳沢節子

セミナーの年次…第29回(平成22年)栃木
第30回(平成23年)新潟の30回で現在の
方式のセミナーは終了その後は各県で自
主開催となります。

第28回関東甲信越糖尿病－群馬－セミナー会場－プログラム

日時：平成21年11月 8 日（日）

AM9:15～PM4:30

場所 前橋市民文化会館（前橋市南町62-1）

●電車の場合（JR 両毛線・前橋駅から
徒歩五分）

●自動車の場合（関越自動車・前橋 IC
より20分）

共催：日本糖尿病協会関東甲信越地方連絡協議会
日本糖尿病学会関東甲信越支部



テーマ：

「上州から広げよう！ ブルーサークル
群青（ぐんじょう）、人情そして友情」

	一般向け（大ホール）			スタッフ向け（小ホール）	
9:15	世界糖尿デー 世界の取り組み、 群馬の取り組み 小児糖尿病の君たちへ ～夢を忘れないで 患者として医療スタッフとして 七転び八起きるの体験談 老後をみつめて ～介護の現場から 休憩+だるまスタンプラリーの説明	伴野祥一 山田思郎 医療スタッ フ他、 正田純史	9:30	皆で支える糖尿病、 ここが知りたい指導のコツ紹介 生活に合わせた栄養指導 ～食品交換表をこえて 口腔ケアは糖尿病ケアの入り口 外来でフットケアをはじめるために 休憩+だるまスタンプラリーの説明 血糖変化に向き合うために (BGAT) 糖尿病治療薬の選び方 (インクレチン、ジェネリック含めて) 外来で始めるインスリン導入、 血糖測定指導のコツ 外来診察で血管合併症をどこまで みるか。(眼、腎、動脈硬化)	宮田洋子 小内 亨 歯 科 医 中村保子 溝口史剛 清水弘行 秋山 仁
12:00	だるまスタンプラリー (大ホール内、運動またはフット ケア実践)	運動指導士	13:00		
14:00	糖尿病と笑い 花の心、上州の心 (星野富弘氏、絵と詩の朗読) 耳を開く、心を開く ～音楽療法 私の青空、世界の青空、 そして皆の笑顔 青空の下で（歌と踊り）	中島英雄 (桂前治) ナレーション 首村映子 映像と音楽 安部純			